

科目名：在宅看護学概論

授業科目	在宅看護学概論	講師名	石向 順子	単位	1 単位	時 期
		実務経験	看護師免許取得後、施設・病院で長年勤務 訪問看護ステーションたんぽぽ看護師	時間	15 時間	2年次 前期
講師の 実務経験と 関連資格						
目 的	在宅看護を取り巻く社会背景をもとに、在宅看護の必要性和目的が理解できる 在宅看護の変遷と役割について学ぶ。					
単 元 ・ 内 容						
<p>1. 在宅看護の意義・特徴・役割</p> <p>1) 在宅の概念</p> <p>2) 地域看護における在宅看護の位置づけ</p> <p>3) 在宅看護の意義</p> <p>2. 在宅看護の歴史と現状</p> <p>1) 在宅看護の変遷と社会背景</p> <p>2) 在宅看護が必要とされる社会背景</p> <p>3. 在宅看護における生活の質(QOL)</p> <p>4. 継続的な医療と看護の提供</p> <p>1) 地域連携の必要性</p> <p>2) 在宅看護と院内看護との比較</p> <p>3) 退院支援・退院調整</p>						
教科書 参考書	医学書院：系統看護学講座 統合「在宅看護概論」					
評 価 方 法	出席状況・学習態度・筆記試験・レポートの提出			100点満点		

科目名：在宅看護論方法論 I

授業科目	在宅看護論方法論 I	講師名	石向 順子	単位	1 単位	時 期
	在宅でのコミュニケーション 日常生活行動への援助	実務経験	看護師免許取得後、施設・病院で長年勤務 訪問看護ステーションたんぼぼ看護師	時間	30 時間	2年次 前期
講師の 実務経験と 関連資格						
目 的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会資源・保健・医療・福祉サービスの実態を知り、人々が活用できるような支援のあり方を学ぶ 2. 在宅看護体制における看護職と児関連職種との連携、役割について理解する。 					
単 元 ・ 内 容						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護に関連する諸制度 <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅ケアを支える社会資源と活用方法 2) 仕組みとサービス利用の手続き 3) ケアマネジメント 4) 介護サービスの種類と内容 5) 関連職種との連携 2. 在宅看護の展開 <ul style="list-style-type: none"> 訪問看護制度 <ol style="list-style-type: none"> 1) 訪問看護ステーションの成り立ち 利用者の特性 2) 訪問看護サービスの利用手続きと内容 社会資源活用における看護師の役割 3. 在宅看護の対象者 <ol style="list-style-type: none"> 1) 在宅看護を必要とする人々 4. 対象者を取りまく家族 <ol style="list-style-type: none"> 1) 現代家族の特性と家族機能の変化 2) 現代社会における家族の多様性 3) 家族のヘルスケア機能 レスパイトケア 4) 家族看護における看護職の役割と援助 5. 対象者の生活 <ol style="list-style-type: none"> 1) 生活の場 2) 家族のライフサイクルと発達課題 生活様式と価値観 6. 対象者の権利保障 <ol style="list-style-type: none"> 1) 人権の権利保障 基本的人権と個人の尊厳 アドボカシー 2) 自己決定権 インフォームド・コンセント 3) 成年後見制度 4) 虐待 5) 情報管理 7. 訪問看護における看護師の倫理 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護師の倫理規定 2) 在宅看護の倫理性 						
教科書 参考書	医学書院:系統看護学講座 統合 「在宅看護論」					
評 価 方 法	出席状況・学習態度・筆記試験・レポートの提出			100点満点		

科目名：在宅看護論方法論Ⅱ

授業科目	在宅看護論方法論Ⅱ	講師名	石向 順子	単位	1 単位	時 期
	医療処置に伴う生活支援 在宅での医療処置技術	実務経験	看護師免許取得後、施設・病院で長年勤務 訪問看護ステーションたんぽぽ看護師	時間	30 時間	2年次 後期
講師の 実務経験と 関連資格						
目 的	健康障害を持ちながらも地域で生活している人を対象とした訪問看護技術、および在宅における援助関係の 基本を学ぶ					
単 元 ・ 内 容						
<p>1. 在宅看護における援助方法の基本</p> <p>1) 訪問看護時の態度の基本</p> <p>2) 初回訪問</p> <p>3) 感染管理</p> <p>4) 医療事故予防</p> <p>2. 基本的な生活援助技術</p> <p>1) 食・嚥下の援助</p> <p>2) 移動・移乗の援助</p> <p>3) 排泄の援助</p> <p>4) 清潔の援助</p> <p>3. 医療処置に伴う生活行動支援</p> <p>1) 膀胱道留置カテーテル</p> <p>2) ストーマ管理</p> <p>3) 経管栄養</p> <p>4) 人工呼吸器装置(NPPN)</p> <p>5) 在宅酸素療法(HOT)</p>						
教科書 参考書	医学書院:系統看護学講座 統合「在宅看護論」 インターメディカ:写真でわかる訪問看護					
評 価 方 法	出席状況・学習態度・筆記試験・レポートの提出			100点満点		

科目名：在宅看護論方法論Ⅲ

授業科目	在宅看護論方法論Ⅲ	講師名	秋澤 きみよ	単位	1 単位	時 期
	在宅療養者の健康課題への看護看護過程	実務経験	看護師免許取得後、病院等で複数年勤務 当校専任教員	時間	30 時間	2年次 後期
講師の実務経験と関連資格						
目的	療養者の在宅生活を支える看護について考え、療養者と家族を中心にチームで協同するのはどういふことか、療養者・家族のQOLをどのように考えていくのかを、地域診断を通して理解する。					
単 元 ・ 内 容						
<p>1. 在宅生活を支える看護</p> <p>1) 地域の取り組み(小山市の取り組み・)</p> <p>2) 市町村の取り組み(他機関連携)</p> <p>2. 地域診断</p> <p>1) 地域診断とは</p> <p>2) 地域診断の方法</p> <p>3) 地域診断(チーム実習)</p> <p>4) 成果物のまとめと発表</p>						
教科書参考書	医学書院:系統看護学講座 統合「在宅看護論」					
評価方法	出席状況・学習態度・レポートの提出			100点満点		

科目名：統合看護論Ⅱ

授業科目	統合看護論Ⅱ	講師名	①秋澤 きみよ ②前原 史枝	単位	1 単位	時 期
	看護管理・多重課題看護 他	実務経験	①看護師免許取得後、病院等で複数年勤務②看護師免許取得後、病院等で複数年勤務その後、教員として勤務	時間	30 時間	3年次 前期
講師の実務経験と関連資格						
目的	看護職の提供するケアマネジメントについてその過程と機能について理解する。 看護サービスのマネジメントサイクルと関連して理解する。 看護実践の場と医療制度の仕組みについて理解する。					
単 元 ・ 内 容						
<p>1. 看護管理</p> <p>1) 看護とマネジメント</p> <p>2) ケアのマネジメント</p> <p>3) 看護サービスのマネジメント</p> <p>4) マネジメントに必要な知識と技術</p> <p>5) 看護を取り巻く諸制度</p> <p>2. 看護マネジメント</p> <p>1) 多重課題への対処</p> <p>2) 事例演習 複数患者のケア計画を立てよう</p> <p>3) 実践演習 複数患者のケアを提供する。</p> <p>4) 統合看護技術</p>						
教科書参考書	医学書院：系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学1 「看護学概論」 「看護管理」					
評価方法	出席状況・学習態度・筆記試験・レポートの提出			100点満点		

科目名：統合看護論Ⅲ

授業科目	統合看護論Ⅲ	講師名	①安達 勝哉 ②野村直美	単位	1 単位	時 期
	災害看護・国際看護	実務経験	①看護師免許取得後、看護師として病院で10年勤務 ②助産師免許取得後、10年以上病院等で勤務	時間	30 時間	2年次 後期
講師の実務経験と関連資格						
目 的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害とは何かを理解できる。 2. 災害時の社会保障制度について理解できる。 3. 災害時における国内外の看護活動について知る。 4. 災害各期の看護活動について理解できる。 5. 被災者別の特徴的な看護について理解できる。 6. 災害支援ボランティアとしての看護活動について理解できる。 7. 国内外の健康問題に対する組織的な国際看護活動を理解し、広く社会に貢献できる能力を養う。 					
単 元 ・ 内 容						
<p>I 災害看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害看護の概要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害と災害医療 2) 災害の種類と特徴 3) 災害看護の実践 2. 災害医療の基本 3. 災害時の対応 4. 災害医療・看護活動 <ul style="list-style-type: none"> 急性期 亜急性期 <p>II 国際看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際看護の概念 活動の課題 2. 国際看護活動の対象者 3. 国際看護活動の展開 4. 異文化理解と国際看護活動と実際 						
教科書参考書	メディカルフレンド社:新体系看護学全書 看護の統合と実践3・2 「災害看護」・「国際看護学」					
評価方法	講義や校内実習の参加度(態度・提出物) ・筆記試験	100点満点 災害看護:70点 国際看護:30点				

科目名：統合看護論Ⅳ

授業科目	統合看護論Ⅳ	講師名	駒崎 敏子	単位	1 単位	時 期
	看護研究	実務経験	看護師免許取得後、病院等で複数年勤務 その後、教員として勤務	時間	30 時間	2年次 後期
講師の 実務経験と 関連資格						
目 的	1. 研究の意義・目的・方法について学び、研究的態度を養う。 5. 自己の看護観が述べられる。					
単 元 ・ 内 容						
<p>看護技術の科学的探究</p> <p>1 看護の探求をめざす有効な実践のための看護技術</p> <p>2 統合した看護技術と評価 看護研究の意義</p> <p>1) 研究の意義</p> <p>(1) 研究とは何か、看護研究とは何か</p> <p>(2) 研究に求められるもの</p> <p>(3) 疑問を解くということ</p> <p>2) 研究の必要性・重要性</p> <p>(1) 研究の条件</p> <p>(2) 看護理論と看護研究</p> <p>(3) 看護における研究の課題</p> <p>(4) 看護研究における倫理的配慮 看護研究の研究デザインとプロセス</p> <p>3) 研究計画書の意義と内容</p> <p>4) 文献検索の方法と入手法</p> <p>3. 研究の種類</p> <p>1) 研究過程の概観</p> <p>2) 研究論文の種類と構成</p> <p>3) 研究計画書の意義と内容</p> <p>4) 論文抄録の書き方</p> <p>4. 研究発表の方法</p> <p>1) 研究発表の準備</p> <p>2) 研究発表における役割</p>						
教科書 参考書	日本看護協会：看護における研究 必要時資料を配布する。					
評 価 方 法	出席状況・学習態度(GWの参加状況)・ 筆記試験・レポートの提出			100点満点		